

第七十回  
帝國議會  
貴族院

# 地方鐵道補助法中改正法律案特別委員會議事速記録第一號

## 付託議案

地方鐵道補助法中改正法律案

橫莊鐵道株式會社所屬鐵道外三鐵道買收  
ノ爲公債發行ニ關スル法律案

## 委員氏名

委員長 公爵岩倉 具榮君  
副委員長 子爵秋元 春朝君

公爵島津 忠承君

伯爵酒井 忠克君

男爵大井 成元君

子爵井上 勝純君

子爵舟橋 清賢君

坂西利八郎君

男爵飯田精太郎君

男爵大藏 公望君

青木 周三君

八田 嘉明君

松本勝太郎君

風間八左衛門君

水野甚次郎君

昭和十二年三月二十四日(水曜日)午後三  
時十三分開會

○委員長(伯爵岩倉具榮君) ソレデハ是ヨ  
リ開會致シマス、先ヅ鐵道大臣ノ御説明ヲ

御願ヒ致シマス

○國務大臣(伍堂卓雄君) 今回提案ニナリ

マシタ地方鐵道補助法中改正法律案竝ニ橫  
莊鐵道外三鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル  
法律案ニ付テ御説明ヲ申上ゲタイト存ジマ  
ス、先ヅ地方鐵道補助法ノ改正デアリマス

ガ、現行補助法ハ地方鐵道ノ普及發達ヲ目  
的トシ、營業開始ノ日ヨリ十年ヲ限リ、建  
設費ノ年五分ニ相當スル金額ヲ限度トスル

補助金ヲ交付スルモノデアリマスガ、昭和  
十二年一月一日以後ニ營業ヲ開始シタ地方  
鐵道ニハ之ヲ適用スルコトガ出來ナイヤウ

ニナツテ居リマス、トコロデ地方鐵道ノ新線  
營業開始ハ近年極メテ僅少トナツタノデア

リマス、又右ハ自動車ガ著シク進出シタニ  
因ル交通情勢ノ變化ヲ示スモノデアリマシ

テ、現行補助制度ハ最早變化シタ時勢ニ適  
合シナイヤウニナツタモノト認メラレル次

第デアリマス、翻ッテ地方鐵道ノ營業成績  
ヲ觀マスルニ、中ニハ優良ナモノガアリマ

スケレドモ、過半数ハ收益率ガ四分ニ達シ  
マセス、トコロガ地方鐵道ハ概ネ國有鐵道

ト密接ナ關係ヲ有シ、交通脈絡上重要ナ役  
割ヲ演ズルモノデアリマシテ、公益上其ノ

存續ヲ必要トスルモノデアリマスカラ、其

ノ運営ヲ保持シ、更ニ進ンデ施設ノ改善等ヲ

行ハシムルコトニ因リ、獨立自營ノ域ニ達  
スルヤウ之ヲ誘導シ、益、公益ヲ増進セシ

メナケレバナリマセス、從ッテ現行補助制度  
ノ建前ヲ其ノ儘据置キ、單ニ補助年限ヲ延長

スルコトハ策ノ得タルモノト思ハレマセ  
ス、仍テ地方鐵道ノ運営ヲ保持シ、效用ヲ

増進セシムルコトヲ目的トスル新補助制度  
ヲ設ケヨウトスル次第デアリマス、新補助

制度ハ建設費ノ百分ノ四ニ相當スル金額ヨ  
リ益金ヲ控除シタ殘額ヲ限度トシ、運輸數

量ニ基キ命令ノ定ムル所ニ依ッテ計算シタ  
補助金ヲ交付シ、且補助ノ目的達成ニ遺憾

ナキコトヲ期スル爲メ、命令ヲ以テ補助金  
ノ用途ニ關スル規定ヲ設クルコト致シテ

アリマス、尙現行補助制度ニ對スル業者ノ  
期待ニ反シナイヤウニ經過規定ヲ設ケ、現

行補助法附則第二項ニ掲グル地方鐵道以外  
ノ地方鐵道ニ對シテハ、申請ニ依リ、即チ

ノ上、御賛成アラムコトヲ御願致シマス、

次ニ地方鐵道ノ買收ノ爲公債發行ニ關スル

法律案デゴザイマスガ、今回買收セムトス  
ル鐵道ハ信濃鐵道、藝備鐵道、北九州鐵道ノ

三ツト橫莊鐵道ノ一部トデゴザイマス、先ヅ  
橫莊鐵道デゴザイマスガ、本鐵道ハ國有鐵道

ノ羽越本線、羽後本莊驛カラ前鄉驛ニ至ル間  
及奥羽本線、横手驛カラ老方驛ニ至ル間ノ地

方鐵道デゴザイマス、此ノ鐵道ノ羽後本莊・  
前鄉間ハ、國有鐵道ノ豫定線ニ該當シテ居

リマスノミナラズ、建設線矢島線ハ昭和十  
年度カラ工事ニ著手シマシテ、十三年度初頭

ニ完成スル計畫ニ相成ッテ居リマス、ソレデ  
此ノ羽後本莊・前鄉間ヲ買收シ、設備ヲ改善

シマシテ、矢島線竣功ノ後本區間ヲ介シテ  
營業スルノ不便ヲ除キタイト思フノデアリ

マス、第二ノ信濃鐵道ハ篠ノ井線松本驛カ  
ラ信濃大町驛ニ至ル地方鐵道デゴザイマ

ス、國有鐵道大糸線ハ南北兩方面カラ工事  
ニ著手シ、昭和十年ニハ南線ハ中土マデ延

ニ至リマスノデ、今回本鐵道ヲ買收セムトスルノデアリマス、第三ハ藝備鐵道デゴザイマスガ、此ノ鐵道ハ山陽本線廣島驛カラ、三神線備後十日市驛ニ至ル地方鐵道デアリマス、本鐵道ハ昭和十一年三神線全通ニ因リ姫新線ト相俟チテ中國縱貫ノ重要ナル使命ヲ有スルニ至リマシタ、サウシテ國有鐵道木次線及福鹽線ハ昭和十二年度、三江線ハ十四年度ニソレ／＼竣功スル豫定デアリマスガ、其ノ曉ニハ此ノ鐵道ハ是等諸線ト併セテ、陰陽連絡ノ捷徑ヲ爲スコトトナリマシテ、運輸上一層緊密ナル關係ヲ生ジマスルニ依リ之ヲ買收セムトスルノデアリマス、最後ハ北九州鐵道デゴザイマスガ、此ノ鐵道ハ鹿児島本線博多驛カラ伊萬里線伊萬里驛ニ至ル地方鐵道デアリマス、本鐵道ハ國有鐵道ノ豫定線ニ該當シテ居リ、鹿児島本線ト唐津線及伊萬里線ヲ連絡スルモノデアリマシテ、博多地方ト唐津、伊萬里、佐世保地方トヲ直接ニ結ブ重要ナル使命ヲ有シマスノデ、今回之ヲ買收シテ、運輸ノ系絡ヲ整備スル計畫ヲ立テタ譯デゴザイマス、尙買收價額ノ問題デゴザイマスガ、是ハ御承知ノ如ク買收ノ期日ガ決マリマシタ場合ニ、其ノ日ヲ基礎ニシマシテ、最近ノ營業年度末カラ遡テ買收價額ヲ計算スルト云

フコトニ、法律ノ規定デ相成ッテ居ルノデアリマシテ、買收ノ日ノ決マリマセヌ今日、正確ナルコトハ無論申上ガ兼ネルノデゴザイマスガ、從來ノ例ニ依リマシテ會社ト協定ヲ致シマシタ、尙此ノ機會ニチヨット御斷リヲ致シタイト存ジマスコトハ、五分利附國債證券ノ時價ノ定メ方ニ付テデゴザイマス、五分利附國債證券ハ、昭和十二年度中ニ金融界ノ情勢ヲ考慮シテ、低利ニ借換ヘラレル場合モアルト思ハレマスガ、其ノ際ニハ時價ヲ定ムルニ付テ困難ヲ來ス觀念ガアリマスカラ、今回ハ昭和十一年度下半年ノ平均相場ニモ依リ得ルコトニ致シタ次第デゴザイマス、此ノ點併セテ御諒承ヲ御願スル次第デゴザイマス、何卒十分御審議ノ上、御賛成アラムコトヲ御願ヒ致シマス

○委員長(公爵岩倉具榮) ソレデハ地方鐵道補助法中改正法律案ノコトニ付キマシテ、御質問ガアリマシタラ御願ヒ致シマス

○風間八左衛門君 只今地方鐵道補助法中改正法律案ニ付キマシテハ、大臣カラ大體此ノ骨子ニ付テ御説明ガアリマシタノデアリマスガ、此ノ法律案ガ改正サレル法律案ダケ見マスルト、第一條ノ「補助ヲ爲ス地方鐵道ノ範圍並ニ前項ノ建設費、益金及運輸數量ノ算出方法ハ命令ノ定ムル所ニ依ル」斯

ウ云フ風デ命令ニ讓ッテアリマス、第二條ノ「補助金ノ使途ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム」斯ウ云フ風デ此ノ命令ノ内容ガ能ク御説明ニナラナイト、我々質問ヲ致シマスノニモ、餘程此ノ計算方法其ノ他ニ付テモ能ク分ラヌ點ガアルノデアリマスカラ、此ノ際ニ政府委員ノ方カラ一ツ簡明ニ我々ノ頭ニ能ク入リマスカラ御説明ガ願ヒタイト思フノデアリマス

○政府委員(前田權吉) 只今風間サンノ御質問ニ御答ヘ致シタイト思ヒマス、差上ゲテアリマス材料ノ中デ現行法ト改正法トヲ比較致シマシタモノヲ御覽下サイマシテ、御聽キラ願フコトガ一番簡便カト心得マス、現行法ハ一番最初ニハ明治四十五年カラスウ云ツク制度ガ出來マシテ、其ノ後數次ノ改正ヲ經テハ居リマスガ、根本ノ精神ニ於キマシテハ當初ト大體同一ナノデアリマス、其ノ趣旨ハ地方鐵道ト云フモノハ國家ノ交通網ノ上カラ言ッテ是非必要デアル、トコロガ相當年所ヲ經マスルト收益モ上ッテ參リマシテ、獨立自營ノ域ニ達スルノデアリマスケレドモ、開業早々ハナカ／＼旅客、貨物ガ集ッテ來ナイ、從ヒマシテ收益モ非常ニ薄イ、サウ云フヤウナ關係デ先キハ樂ミダケレドモ、差當リ困ルト云フコトデ、資金

ガナカ／＼集リニクイト云フヤウナ狀態デアリマシタノデ、其ノ獨立自營ノ域ニ達スル迄ノ間、政府デ或程度ノ補助ヲスルト云フコトデ資金ヲ地方鐵道ニ吸收スルト云フコトガ、大體根本方針デアッタヤウデアリマス、從ヒマシテ現行法ノ第一條ハ、地方鐵道開業ノ日カラ十年ヲ限ッテ建設費ニ對スル年五分ノ補助ヲ與ヘル、斯ウ云フコトガ骨子ニナッテ居ルノデアリマス、矢張り差上ゲテアリマスル新線開業料程表ト云フモノガ後ノ方ニ附イテ居ル筈デアリマスガ、此ノ新線開業料程表ト云フノヲ御覽下サイマスト御分リニナリマスカラ、大正元年以來毎年多キハ五百「キロ」以上、大體ニ於キマシテ三百「キロ」、四百「キロ」ト云フヤウナ程度ノ地方鐵道ガ年々營業ヲ開始致シテ參ツタノデアリマス、此ノヤウニシテ現行ノ地方鐵道補助法ハ所期ノ目的ヲ達シツツ參ツタノデアリマス、トコロガ其ノ新規開業ノ料程表デ御覽下サイマスト分リマスカラ、昭和六年ヲ轉機ト致シマシテ、地方鐵道ノ開業「キロ」數ガ非常ニ減ッテ參ツタノデアリマス、昭和七年ガ六十四「キロ」、八年ハ七十九「キロ」、九年ハ五十二「キロ」、十年ハ三十六「キロ」ト云ツタヤウナ風ニ、昭和六年以後ハ急激ニ地

方鐵道開業料數ガ減ッテ居ルノデアリマス、是ハ一面ニ於キマシテハ自動車ノ發達デアリマス、トカ言ツタヤウナ、交通ノ事情ガ段々變ッテ參リマシタト云フヤウナコトモアリマセウシ、又建設費ニ對スル五分ノ補助ヲ十年間ヤルト云フノデハ、資金ヲ地方鐵道ニ吸收スルコトガ困難ニナッテ參ッタト云フヤウナ事情ヲ物語ッテ居ルモノデアラウト思フノデアリマス、トコロガ一面此ノ現行法ノ附則ニアリマシヤウニ、此ノ現行補助法ハ昭和十一年十二月三十一日マデニ營業ヲ開始シマシタ鐵道ニ對シテ適用ヲ致スノデアリマシテ、昭和十二年一月一日以後ニ開業致シマシタ地方鐵道ニ對シテハ、最早現行法第一條ノ補助ヲ爲スコトヲ得ナイ、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、其ノ結果昭和十二年度以降ニ於キマシテハ、第一條所定ノ十年間ガ年々到來致シマスガ爲ニ、補助ヲ受ケル資格ノアル鐵道ガ段々減ッテ參リマシテ、結局昭和二十一年ニ至リマス、斯ウ云フコトニナリマスヤウナ仕組ニナッテ居ルノデアリマス、ソレデ本年ハ現行法ノ儘ニ補助法ヲ止メテ置キマシテ、從ッテモウ十年經ツト自然消滅ニ歸スルト云フコトニ任セテ置イテ宜シイカ、或ハ何等カノ方

法デ地方鐵道ノ今後補助ヲ續イテヤッテ行ク必要ガアルカト云フコトノ判斷ヲスベキ時期ニナッテ居ル譯デアリマス、トコロガ現在ノ地方鐵道ノ情況ハ、ドウ云フ風ナ工合デアルカト云フコトヲ見マスルト、矢張り御手許ニ差上ゲテアルト思ヒマスガ、地方鐵道ノ建設費ニ對スル益金割合ト云フ點、版刷ノ表ヲ御覽下サイマス、ト分リマシヤウニ、地方鐵道ノ中ニハ二割以上、一割以上ト云フヤウナ建設費ニ對スル益金割合ノ多イ鐵道モアルニハアルノデアリマスガ、大部分ハ四分ニ充タナイ益金割合シカ擧ゲテ居ナイト、斯ウ云フ實情ニアル譯デアリマス、日本ノ鐵道網ノ一ツノ連鎖ヲ成シテ居リマスル地方鐵道ノ大部分ガ、斯様ナ貧弱ナ成績シカ擧ゲ得ナイト云フ實情ニアリマスルコトハ、現行補助法ヲ此ノ儘自然消滅ニ委シテ置クト云フコトガ出來ナイ狀態ニアルノデハナイカト、斯様ニ認メマスル所カラ、補助ヲ今後モ或程度繼續シテ行ク必要ガアルト、斯様ニ認メマシテ、現行法ヲ改正スルト云フコトノ研究ヲ致シタノデアリマス、トコロデ現行法ヲ改正スルト致シマスルト、ドウ云フ方法ガアルカト云フコトヲ考ヘマスルニ、大體二ツノ方法ガアリ得ルト思フノデアリマス、一ツハ現行法

ヲ其ノ儘ニ致シマシテ、唯第一條ノ「政府ハ地方鐵道ニ對シ該鐵道營業開始ノ日ヨリ十年ヲ限リ」トアリマスノヲ「十五年ヲ限リ」ト、斯ウ變更スルコトガ一ツノ方法デアラウト思フノデアリマス、是ハ民間ノ鐵道ノ團體ナシカカラモ、サウ變更シテ吳レト云フ陳情モアリマシテ、又昨年ノ衆議院ニ於キマシテモ、同じ趣旨ノ建議案ガ通過シテ居ルト云フヤウナ事情ニナッテ居ルノデアリマスルガ、私共ハ此ノ營業開始ノ日ヨリ十年ト云フコトヲ十五年ニ改メルト云フ改正ハ、今日ノ事情ニ適シタルモノデハナイト、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレデ現在ノ實情ハ只今マデ續々申上ゲマシタヤウニ、開業後十年トカ何トカ云フ問題デハナクテ、既存ノ地方鐵道ノ半數以上モ云フ實情ニアリマシテ、既存ノ貧弱ナ而モ公益上必要ナ地方鐵道ヲ、モウ少シ優良ナモノニ致シマシテ、運営ヲ保持シテ効用ヲ増進セシムルコトガ必要ナノデアラウト、斯ウ考ヘルノデアリマスルガ、開業後十五年ト致シマスルト、日本ノ地方鐵道ハ非常ニ古イ時代カラ建設ヲ始メテ參ッテ居ルヤウナ譯デ、十五年トスルコトニ依リマシテ資格ガ今後

存續シテ行クヤウナ鐵道ハ半數餘シカナイ、半數足ラズハ既ニ今日十五年以上ヲ經過シテマッテ居ル古イ鐵道デアル、斯ウ云フコトニナリマスルノデ、十五年ト云フ風ニ變更致シマスコトハ、地方鐵道ノ弱ッテ居ルモノニ補助金ヲ與ヘルノニハ適切デナイト、斯ウ云フヤウナ結論ニ達シマシタ譯ナシデアリマス、ソコデ今次ノ提案ヲ工風致シマシタヤウナ次第ノデアリマス、ソレデ今次ノ改正法ノ變更セラレマスル主要ナル點ハ二ツアルノデアリマスガ、一ツハ今マデ申上ゲマシタヤウニ、現行法ニ依リマシテ建設費ノ百分ノ五ニ相當スベキ金額ヲ補助サレル資格ノアル鐵道、即チ開業後マダ十年經ッテ居リマセス鐵道、此ノ鐵道ハ今後矢張り從來ノ規定ト同じ趣旨ノ規定ニ依リマシテ、其ノ鐵道ノ開業後十年ニ達シマスルマデ補助ヲ繼續シテ行ク方ガ宜イダラウ、是ハ嚴密ニ既得權トカ何トカ云フコトニハナラナイカモ知レマセスガ、從來ノ法律ニ依ッテ左様ナ期待ヲ持ッテ居ル譯デアリマスルノデ、其ノ期待ヲ尊重スル意味ニ於キマシテ、現行法デ資格ヲ持ッテ居ル鐵道ハ今後モソレヲ繼續シテ行ク、但シ低金利ノ折柄デモアリマスルノデ、從來五分トアリマシタノヲ今後ハ四分ニ變ヘル、斯ウシマスコトガ又今日ノ時勢カラ見テ適當

ノ頃合ナノデハナイカ、斯様ニ考ヘマシテ、改正法ノ附則ニ左様ナ規定ヲ設ケタノデアリマス、ソレカラモウ一ツ從來ノ現行法第一條ニ依リマシテ補助ヲ受ケル資格ノナイ地方鐵道、即チ開業後既ニ十箇年ヲ經過致シテ居リマスル地方鐵道並ニ昭和十二年一月一日以後ニ營業ヲ開始致シマスル地方鐵道、此ノ二種類ノ地方鐵道ニ對シマシテハ、改正法ノ第一條ノ規定ニ依リマデテ補助ヲ致シテ参リタイ、ソコデ第一條ハドウ云フ趣旨ノコトカト申シマスルト、大體ニ於キマシテ建設費ニ對スル年四分ヲ目標ト致シマシテ、出來得ベクンバ年四分ニ當ルヤウナ、補助ト利益トヲ合セマシテ年四分ニ當ルヤウナ風ニ仕向ケテ参リタイ、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、ソコデ計算方法ハ此處ニ「運輸數量ニ基キ命令ノ定ムル所ニ依リ計算シタル金額」、斯ウ云フ風ニ書イテアルノデアリマスガ、是ハ多少複雑カトモ思ヒマスノデ、正確ナル言葉デハアリマセスガ、極ク大綱ミノ考ヘ方ヲ御了解ヲ戴ク爲ニ、簡單ニ先ヅ一口ニ申上ゲマス、大體其ノ鐵道ノ營業費ノ半分ヲ補助金トシテヤル、斯ウ云フ風ニ一應御考ヘ置キヲ願ッテ、是カラノ説明ヲ御聽キ願フコトガ便宜カト考ヘルノデアリマス、地方鐵道ノ營業費ト申シ

マスモノハ、運輸數量ノ非常ニ多イ所カラ、非常ニ少ナイ所ト、非常ナ段階ガアル毎ニソレ／＼單價ガ違ッテ居ルノガ通例デアリマス、即チ運輸數量ノ比較的少ナイ鐵道ニ於キマシテハ、營業費ガ單價トシテハ比較的高ク掛ル、段々運輸數量ガ殖エテ來マスニ從ヒマシテ、營業費ノ單價ハ段々下ッテ参リマス、ソコデ云フ傾向ヲ持ツコトハ、是ハ普通ノ事業ト同様デアリマス、ソコデ今回總テノ補助ニ値ヒスル地方鐵道ノ營業費ノ單價ヲ全部出シマシテ、ソレカラ最小自乘法ニ依リマシテ、何人「トン、キロ」以上ノ地方鐵道ハ單價ガドレ位ノモノニナルカト云フコトヲ、有ラユル人「トン、キロ」ニ互リマシテ調べ上ゲタ譯デアリマス、サウシテソレヲ公式ト致シマシテ、各目的ノ地方鐵道ニ對シマシテ補助ヲ與ヘマス際ニハ、其ノ鐵道ノ人「トン、キロ」ニ、其ノ人「トン、キロ」ニ相當スル營業費ノ單價ヲ掛ケマシテ、サウシテ補助金ヲ計算スル、斯様ナ仕組ミニシタイト、斯ウ思ッテ居ル譯デアリマス、ソコデモウ一ツ改正法ノ第一條ニハ「建設費ノ百分ノ四ニ相當スル金額ヨリ益金ヲ控除シタル殘額以內ニ於テ」、斯ウ云フ文句ガアルノデアリマス、只今申上ゲマシタヤウナ方法デ補助金ヲ計算致シマシテ、ソレガ其ノ

地方鐵道ノ益金ト合セテ建設費ノ百分ノ四ニ達シマシタラ、其ノ程度デ打切ル、計算上ハモット多クノ額ニナリマシテモ、益金ト合セテ百分ノ四ニ達シマスレバ、其ノ程度デ打切ル、斯ウ云フ制限ヲ設ケタノデアリマス、此ノ制限ノ點ハ現行法ノ制限トハ非常ニ違ッテ居ル譯デアリマス、現行法ノ制限ハ第一條ノ第二項ニ書イテアリマスカウニ、「前項ノ場合ニ於テ毎營業年度ニ於ケル益金ガ建設費ノ百分ノ一ニ相當スル金額ヲ超ユルトキハ其ノ超過額ハ之ヲ前項ノ金額ヨリ控除ス」、斯ウ云フ風ニ現行法ハナッテ居ルノデアリマス、場合ニ依リマシテハ、利益ト合セテ百分ノ六ニナル、之ガ現行法ノ規定デアリマス、トコロガ改正法ハ利益ト合セテ百分ノ四ニシカナラナイ、斯ウ云フ譯デ非常ニ減額サレタヤウナ形ニナッデ居ルノデアリマスガ、低金利ノ時勢デモアリマスルシ、此ノ程度ニ止メルコトガ宜イノデハナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、殊ニ貴族院等ニ於カレマシテ、以前ニ成ルベク此ノ地方鐵道ノ補助ハ多數ニ均霑サセルコトガ必要デアアル、斯様ナ希望決議デアリマシタカラ承ッテ居ル譯デアリマス、其ノ御趣旨カラ申シテマシモ、從來ノ規定ヲ改正致シマスナラバ、今度ノ第一條ノヤウ

ニスルコトガ適切デハナカラウカ、斯様ニ考ヘマシタ次第デアリマス、ソコデ大變複雑ナヤウデアリマスガ、一ツ實際ノ例ヲ取ッテ、茲ニ御説明申上ゲルコトガ御了解ニ御便利カトモ考ヘマス、マア具體的ノ或地方鐵道ノ計算ヲ、從來ノ規定ヲ今度ノ附則ニ依リマシテ四分ニ變ヘタ場合ト、ソレカラ改正法ノ第一條ニ依リマシテ、運輸數量ニ基イテ計算シタ場合ト、斯ウ二ツノ場合ニ當嵌メテ計算致シテ見タノデアリマスガ、此ノ鐵道ハ八十二萬圓バカリノ建設費デアリマス、サウシテ或年ニ八千五百圓バカリノ益金ヲ得テ居リマス、八十二萬圓デ八千五百圓ノ益金デアリマスノデ、建設費ノ四分ト申シマス、三萬二千八百圓バカリデアリマスルガ、之ヲ從前ノ第一條ノ規定デ、唯五分ヲ四分ト直シマシテ、計算致シテ見マスルト云フト、第一條ニ依リマシテ、百分ノ一ヲ超ユル金額ヲ百分ノ五ノ金額カラ引クノデアリマスノデ、ソレデ補助金ハ三萬二千五百圓バカリニナルノデアリマス、トコロガ新シイ制度ニ依リマシテ計算致シマスルト、此ノ鐵道ノ運輸數量ト、只今申上ゲマシタ最小自乘法ノ公式デ計算致シマシタ單價トヲ掛ケ合セマシテ、サウシテ其ノ半分ヲ補助金トシテ補給スル、斯ウ云フ

コトニシテ計算致シマスルト、二萬四千圓  
バカリニナルノデアリマス、トコロ、ガ此ノ  
鐵道ハ先刻申上ゲマシタヤウニ八千五百圓  
バカリノ益金ガアル、サウシテ八十二萬圓  
ノ建設費デアリマスルカラ、從ツテ建設費ノ  
一分ヨリハ少シ餘計ニ益金ヲ得テ居リマス  
譯ナンド、從ツテ利益ト合セマスルト云フ  
ト、少シ四分ヲ超エル形ニナル譯デアリマ  
ス、四分ヲ超エル形ニナルデアリマスガ、  
四分ヲ超エテハナラナイノデアリマス、ソ  
コデ此ノ鐵道ノ四分ト云フノハ一體幾ラニ  
ナルカト申セバ、八十二萬圓ノ四分デアリ  
マスカラ三萬二千八百圓バカリニナルノデ  
アリマス、トコロガ只今申上ゲマシタ  
ヤウニ、運輸數量ニ基イテ營業費ノ  
單價ヲ掛ケテ其ノ半分ヲ割ルト云フ  
コトニシマスレバ、二萬四千圓ニナリマス  
カラソレデ二萬四千圓ヲ全部貫ツテ宜イト  
斯ウ云フ勘定ニナリマス、前ノ計算ハ三萬  
二千五百圓バカリデアリマスルガ、今度ノ  
計算ニ依リマス、二萬四千圓バカリニナ  
リマシテ、サウスルト八千四百圓バカリ年  
額トシテ少クナル、斯ウ云フヤウナ勘定ニ  
ナルノデアリマス、是ハ唯一ツノ例デアリマ  
シテ、總テノ鐵道ガ從來三萬二千餘圓デアッ  
ダヤツガ二萬四千圓ニナツテ八千圓バカリ

減ル、斯ウ云フ割合ニ行クモノデハナイノ  
デアリマシテ、唯斯様ナ計算デ參ルト云フ  
コトノ一ツノ例ヲ申上ゲタニ過ギナイノデ  
アリマス、ソコデ大多數ノモノハ斯様ニ致  
シテ參リマス、年額ノ四分ニハ達スルヤ  
ウデアリマス、無論利益ト自分ノ所デ儲ケ  
マシタ利益ト合セマシテ、年額ノ四分ニ達  
スル鐵道ガ殆ド大多數デアリマス、稀ニ僅  
カノ鐵道ニ於キマシテ、利益ト合セマシテ  
モ年額四分ニ達シナイヤウナ鐵道ガ出テ來  
ルコトハ、是ハ免レ難イ所カト考ヘル譯デ  
アリマス、唯サウ云フ鐵道ニ對シマシテハ、  
今後自力更生ト云フヤウナ考ヘ方ヲ促シマ  
シテ、サウシテ私共ノ方モ出來得ル限リノ  
協力ヲ致シマシテ、一日モ早く其ノ僅カバ  
カリノ鐵道デハアリマスルガ、四分ノ率マ  
デハ達シマスヤウニ誘導シテ參リタイ、斯  
様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、尙其ノ外ニ  
命令ノ定ムル所ニ委シテアル點ガチヨイ  
チヨイアルノデアリマスガ、先ヅ第一ニ、第  
一條ノ第二項ニ、「補助ヲ爲ス地方鐵道ノ範  
圍竝ニ前項ノ建設費、益金及運輸數量ノ算  
出方法ハ命令ノ定ムル所ニ依ル」、斯ウ云フ  
コトニナツテ居リマスガ、此ノ中デモ建設  
費、益金ト云フ此ノ二ツノモノハ、現行法  
デ政府ノ命令ニ委シテアル譯デアリマス、

建設費ト云フモノヲドウ云フ風ニシテ計算  
スルカ、益金ハドウ云フ風ニシテ計算シタ  
モノヲ益金ト言フカト云フコトデアリマシ  
テ、大體鐵道ノ會計規定ノ命ズル所ヲ其ノ  
儘ヤレバ宜イ譯デアリマスガ、補助ニ付キ  
マシテハ多少從來カラ違ツタコトヲ考ヘナ  
クチヤナラヌト云フ意味デ、特殊ノ定メヲ  
命令デ致シテ居ル譯デアリマス、例ヘバ建設費  
ニ致シマシテ例ヲ取ツテ申上ゲマス、或鐵  
道ガ停車場ノ構内トシテ非常ニ大キナ地所  
ヲ有ツテ居ル、將來擴張ヲスルト云フコトノ  
爲ニ今日ハ不必要ナ空地ヲ澤山有ツテ居ル  
ヤウナ場合ニ、ソレハ其ノ鐵道ノ建設費ト  
シテ長イ眼デ見テ參レバ極メテ必要デアッ  
テ、建設費ニハ相違ナイノデゴザイマス、  
併シナガラ現在補助ヲスルト云フ立場カラ  
考ヘマス、左様ニ將來ノ爲ノ用地トシテ  
現在ノ營業ニハ必要デナイ、斯ウ云フヤウ  
ナ見方モ出來ル譯デ、左様ナ場合ニ査定ス  
ルコトガ出來ルト云フヤウナコトノ爲ニ、  
現行ノ補助法ニ於キマシテモ、命令デ是等ノ  
コトヲ定メルコトヲ認メテ居ル譯ナンデアリ  
マスガ、サウ云ツタコトデ建設費、益金ト云フ  
コトハ御了解ガ願ヘルコトト思ヒマス、運輸  
數量ハ、是ハ現行法ニハナカッタコトデアリ  
マシテ、今度初メテ舉ゲラレタ譯デアリマス

ガ、只今申上ゲマシタヤウニ、運輸數量ト其  
ノ運輸數量ニ對應致シマシタ營業費ト云フ  
モノガ、今度ノ補助金ノ計算ノ基礎ニナル譯  
デアリマスノデ、運輸數量ハドウシテモ決  
メナケレバナラヌ譯デアリマス、所ガ運輸  
數量ハ御承知ノ通りニ旅客ト貨物カラ成ッ  
テ居ル譯デアリマス、單價ト云フモノハ旅  
客ニ付テハ一人ヲ一「キロ」運ブ、貨物ニ付  
テハ一「トン」ヲ一「キロ」運ブ、斯ウ云フコ  
トデアリマス、此ノ旅客ト貨物トヲ合セマ  
シテ、單位ハドウナルカ、斯ウ云フ問題ニ  
ナル譯デアリマス、是ハ旅客ト貨物トノ營  
業費ト云フモノガ、ドレ位ノ差ガアルカ、  
又大體同ジモノデアアルカト云フコトハ、ナ  
カナカムツカシイノデアリマシテ、鐵道省  
ガ調べテ居リマス「コスト」ノ研究ガ完成シ  
マスレバ、ソレハ學問的ナ結論モ出ルノデ  
アリマスガ、マダ本案ヲ立案シテ居リマス  
頃ハ、サウ云フ域ニ達シテ居リマセヌノデ、  
大體監督局ガ、旅客ト貨物トノ費用ノ割合  
ヲ、一ト二ト云フ風ニ長ク扱ツテ來テ居リマ  
シタノデ、其ノ儘假ニ踏襲シマシテ、旅客  
二人ヲ一「キロ」運ブ費用デ貨物一「トン」ヲ  
一「キロ」運ブコトガ出來ル、大體左様ナ前  
提デ參リタイト考ヘテ居リマスヤウナ次第  
デ、從ツテ命令ニ依ツテ此ノ數量ト云フコト

ヲ定メマス場合ニハ、今申シマシタヤウ  
ナ方法ヲ算出スルト云フコトヲ定メタイ、  
斯ウ思ッテ居リマス、殘リマス地方鐵道ノ範  
圍、之ヲドウ云フ風ニ定メルカト云フ問題デ  
アリマスガ、是ハ積極的ニモ限界ガ立チ得  
マセウシ、又消極的ニモ斯ウ云フ地方鐵道  
ニ補助シテハイケナイト云フ風ナ限界モ立  
チ得ル譯デアリマス、先ヅ以テ積極的ノ方  
カラ申シマス、地方鐵道ハ國有鐵道ト關  
聯致シマシテ、日本ノ鐵道網ノ連鎖ノ中ニ  
織リ込マレテ居ルト云フコトガ、一ツノ主  
要ナ特長デアリマス、或ハ國有  
鐵道ト直通連絡ヲヤッテ居ル、或ハ連帶運輸  
ヲヤッテ居ル、斯ウ云ッタヤウナ地方鐵道ガ、  
ドウシテモ優先シテ來ルコトハ當然デアラ  
ウト考ヘルノデアリマスガ、其ノ外ニ國有  
鐵道ト左様ナ關係ハ持ッテ居リマセヌケレ  
ドモ、地方ノ産業開發上下ウシテモ必要ダ  
ト云フヤウナ向キモアルカト思フノデアリ  
マスガ、サウ云フモノヲ全然除外スル趣旨  
デハアリマセヌケレドモ、順序ト致シマシ  
テハ、直通運輸ヲ爲スモノ、更ニ續イテハ  
單ナル連帶運輸ヲ爲スモノ、斯ウ云フヤウ  
ナ順序ヲ審議ヲシナケレバナラスコトダト  
思フノデアリマス、消極的ナ限界ト致シマ  
シテハ、從來カラ行政方針ト致シマシテ執ッ

テ居ッタ所デアリマスガ、専用線ノ性質ガ顯  
著デアル、ト申シマスノハ、例ヘバ鑛山ノ  
鑛石ヲ運ブ爲ニ鐵道ヲ作ル、サウシテソレ  
ヲ一般ノ地方鐵道トシテ開放シテ居ル、斯  
様ナ場合ニモウ輸送スルモノハ、殆ド九分  
九厘マデ其ノ鑛山ノ鑛石バカリデアル、時  
タマ申込ガアレバソレヲ受付ケテ運ビハス  
ルガ、ソレハ非常ニ僅カナモノダ、一分ニ  
モ充タナイヤウナ僅カナモノダ、斯ウ云フ  
ヤウナ場合ニ於キマシテ、其ノ鐵道ニ  
依リマシテ運ビマス鑛石ノ運搬費ト云  
フモノハ、何ト申シマス、鑛山ノ鑛石ノ  
採掘費、或ハ其ノ延長ノ何カサウ云ッタヤ  
ウナモノデ負擔シテモ宜イ性質ノモノ  
デアラウカト思フノデアリマス、左様ナ  
専用線ノ性質ガ極メテ顯著デアル、サウ  
云フ鐵道ニ對シテハ補助ヲスル必要ハナイ  
デハナイカ、ソレカラ是モ從來デモ行政方  
針トシテ同ジ考ヲ持ッテ居ッタデアリマス  
ガ、「ケーブルカー」ト云ッタヤウナモノニ  
對シマシテモ、大體ニ於テ補助シナクテモ  
宜イデヤナイカ、ソレカラ更ニ本業デアリ  
マス、地方鐵道ハ益金ガ非常ニ少クテ、或  
ハ建設費ノ二分カ二分五厘ニシカナッテ居  
ナイガ、兼業ヲヤッテ居ッテ、其ノ兼業ガ非  
常ニ儲カル、サウシテ其ノ結果年々五分ダ

トカ六分ト云ッタヤウナ配當ヲシテ居ル、  
斯ウ云ッタ地方鐵道ニ對シマシテハ補助ヲ  
スル必要ハナイデハナイカ、斯ウ云ッタヤウ  
ナ消極的ナ限界ヲ定メマシテ、命令デ規定  
致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマ  
ス、モウ一ツ、第二條ニ補助金ノ使途ハ命  
令ヲ以テ之ヲ定ム、斯ウ云フコトニナッテ居  
リマスガ、此ノ補助金ノ使途ヲ定メルコト  
ハ、現行法ニハ實ハナイノデアリマス、唯  
ココ數年間、鐵道省デ實際ニ行政上ノ方針  
ト致シマシテ、之ニ似タヤウナコトヲヤッテ  
參ッテ居ルノデアリマス、ソレハ補助金ハ御  
承知ノ通りニ年々七百五十萬圓程度、年ニ  
依リマシテ七百萬圓ノコトモアリマシタ  
シ、七百三十萬圓ノコトモアリマシタガ、  
兎ニ角大體其ノ程度ノ豫算ヲ年々組ンデ參ッ  
テ居ル譯デアリマスガ、ソレダケノ金デ以  
テ非常ニ澤山ノ地方鐵道ニ對シマシテ補助  
ヲ致ス譯デアリマス、昨年マデハ大體百會  
社見當ニ對シマシテ補助金ヲ與ヘテ參ッテ  
居ル譯デゴザイマス、所謂燒石ニ水ト言ヒ  
マス、補助金ソレ自體ダケデ、非常ニ行  
詰ッテ居ル會社ヲ更生セシメルト云フ力ハ  
ナイ場合ガ多イノデアリマス、從ッテ其ノ補  
助金ヲ、俗ニ申ス差シ水ヲスルヤウナ風ニ  
使ヒマシテ、サウシテ其ノ補助金ヲ貰ッタ

云フコトニ依ッテ、ソレヲ契機ト致シマシ  
テ何等カノ計畫ヲ實行サシテ、サウシテ其ノ  
會社ノ進歩改善ヲ圖ル、斯ウ云フ風ニ仕向  
ケテ行カナケレバ、七百五十萬圓ノ補助金  
ノ效果ガ完全ニ舉ガルト云フ譯ニハ行カナ  
イト考ヘルノデアリマス、從ヒマシテ最近  
ニ於キマシテハ補助ノ指令ヲ致シマス場合  
ニ、具體的ニ各會社ニ對シマシテ此ノ金ヲ  
貰ッテドウ使フカト云フコトノ懇談ヲ致シ  
マシテ、サウシテ會社ニ計畫ヲ立テサセマ  
シテ、其ノ立テタ計畫ヲ我々ガ十分納得ガ  
行キマシテ、初メテ補助ノ指令ヲ出シテ居  
ル、斯ウ云フノガココ數年間ノ實際ノヤリ  
方デアルノデアリマス、ソレヲ法律改正ノ  
際ニ法文上ニ根據ヲ求メタイ、斯ウ云フ考  
デ第二條ヲ書キマシタヤウナ譯ナンデアリ  
マス、申ス迄モナク補助金ハ、第一著手ト  
シテハ營業上ノ費用ニ使フコトガ當然デア  
ラウト思ヒマス、ガ併シ、營業上ノ金ハ大  
體收支ガ償フノガ普通デアリマス、左様ナ  
場合ニハ或ハ設備ナリ設備以外ノ施設ノ改  
善ナリヲスルト云フコトガ、旅客貨物ヲ吸  
收シマス上ニ於テ、必要缺クベカラザルコ  
トデアリマスシ、又運賃ヲ下ゲルト云フヤウ  
ナコトモ、公益ニ合致致シマス同時ニ、  
旅客貨物ヲ吸收スル一ツノ途デモアリマ

ス、ソレ等ノ爲ニ補助金ヲ使フ、更ニ進シ  
デハサウ云フ必要ガ差當リナイトカ、或ハ  
サウ云フ爲ニ使フコトハ一應使ツタ後ニ、更  
ニ借金ノ利息ニ充テルト言ツタヤウナ順序  
ニシナケレバナラスコトダラウト思フノデ  
アリマス、サウ云フ大體ノ順序ヲ定メマシ  
テ、又必要ニ應ジテハ其ノ順序ヲ變更シ得  
ルヤウナユトリヲ附ケマシテ、命令デ定メ  
タイトス様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、サ  
ウシテ最後ニ此ノ改正法ハ昭和十七年四月  
一日以後ノ期間ニ付テハ交付スルコトヲ得  
ズト云フ附則ヲ設ケマシテ、昭和十六年度  
限リデアルト云フ終期ヲクツ附ケタノデア  
リマス、即チ今後五箇年間此ノ補助ヲヤル  
ト斯ウ云フコトニ致シタ譯デアリマス、是  
ハ最初十年ニシタラドウカト云フヤウナ考  
ヘ方モアツタノデアリマス、十年ト云フコト  
ハ先刻申シマシタ現行法ノ規定ガ、今後十  
年間實際ニハ適用ガアル譯デアリマシテ、  
十年經チマスト初メテ完全ニ現行ノ規定ガ  
消滅スルコトニナツテ居リマス譯デ、其ノ時  
マデニ改正法ヲ實施シテ、總テノ地方鐵道  
ノ補助ヲ今後十年經ツタ時ニ全部清算スル、  
サウ云フコトモ考ヘタノデアリマス、是ハ  
必ズシモ二ツ合ス必要モナイ譯デアリマス  
カラ、一應五年間デ切ツテ模様ヲ見ルト

云フコトガ、初メテノ制度ト致シマシテハ  
適當ナンデハナイカトス様ニ考ヘマシテ、  
昭和十七年三月末日迄ト云フコトニ致シタ  
次第デアリマス、大體ノ説明ヲ申上ゲマシ  
タ積リデアリマスルガ、計算方法トカハ殊  
ニ複雑デアリマスルノデ、御質問ニ依リマ  
シテ更ニ御答ヲ致シタイト思ヒマス  
○風間ハ左衛門君 只今監督局長カラ非常  
ニ深切丁寧ニ御説明ガアツタノデ、大體ハ諒  
承ヲ致シタノデアリマスガ、只今ノ御説明  
中ニモ、現在補助ヲシテ居ル鐵道ガ百バカ  
リアルト云フ御話デアリマス、現在ノ鐵道  
ノ數ヲ此ノ表デ見マスト、十年デハ二百五  
十五ト書イテアリマスガ、現在モ矢張り  
其ノ數ト餘リ變リガナイノデアリマセウ  
カ、又此ノ補助ヲ改正サレタ結果、補助  
資格ト申シマスカ、此ノ鐵道ノ範圍カラ  
大體ノ御見込ガ幾ツ位ナ數ニ上ルノデ  
アリマスカ、其ノ總體、補助サレル金額  
ハ今ノ所デハ豫算ノ關係上七百五十萬圓ト  
ナツテ居リマスガ、將來モ七百五十萬圓乃至  
七百三十萬圓位ト云フ御話ガアツタノデ、ソ  
レデアリマスカラ此ノ補助ノ豫算ノ金額ヲ  
減ラス意味ニ於テ、百分ノ五ト云フノヲ  
四ニサレタト云フ風ニハ取ツテ居リマセヌ、非  
常ニ結構ナコトデ、補助スベキ鐵道ノ數ヲ

更ニ多クシヨウ、斯ウ云フ我々ノ希望モアッ  
タノデアリマシテ、其ノ希望ニ副フヤウナ  
風ニ御改正ニナツタト云フ本旨デアリマスカ  
ラ、大變其ノ點ハ結構ダト思ヒマスガ、現  
在デモ此ノ百分ノ五ヲ補助シテ居ッテモ尙  
且ツ獨立自營スルコトハ非常ニ困難デアル、  
ソレヲ百分ノ四ニスレバ尙困難ニナルノデ  
ハナイカト云フコトヲ心配スルノデアリマ  
ス、唯低金利ニナツタカラ經營ガ非常ニ、一  
分位ハ補助ヲ減ジテモ立行クヤウニナツタ  
ノデハナカラウカト、斯ウ云フ風ニ御考ヘ  
ニナツテ居ルノカ、今後五年間ヲ増シテ、十  
年ノモノヲ十五年位ニシテ補助ヲ繼續シテ  
行ケバ、此ノ程度デ大體獨立自營スルヤ  
ウニ、段々地方鐵道ガ自力更生シテ、サ  
ウシテ行クモンダト、斯ウ云フ風ニ御考  
ヘナツテ居ルノデアリマスカ、如何デス  
カ

○政府委員(前田稷君) 御答ヘ致シマス、  
現在ノ地方鐵道ハ五百五十一ニナツテ居リ  
マス、前ヨリ少シ減ツテ居リマス、ソレ  
デ從來ハ御手許ニアリマスヤウニ、大體百  
見當ノ補助ヲ致シテ參ツタノデアリマスル  
ガ、今度此ノ新シイ制度ヲ設ケマシテ、サ  
ウシテ現行法第一條ノ規定ト併用シテ參リ  
マシタ場合ニ於キマシテ、一應ノ計算ヲ致

シテ見マスルト云フト、ハッキリシタコトハ  
分ラナイノデアリマスガ、昭和十二年ニハ  
百三四十位ノ鐵道ニ對シテ補助ガ出來ルノ  
デハナイカト、斯様ニ考ヘル譯デアリマス、  
ソレハドウ云フ計算カト申シマス、責任  
アル調査デハナイノデアリマスガ、私共ノ  
方デ四分ニ滿タヌ鐵道ヲズツ拾ヒ上ゲマ  
シテ、サウシテ其ノ中カラ只今申上ゲマシ  
タヤウナ積極的、消極的ノ限界ニ外レマシ  
タモノヲ除外致シマシテ、サウシテ補助金  
ヲ幾ラ要ルデアラウカト云フコトヲ大摺ミ  
ニ計算シテ見マスト、昭和十二年ニ八百六  
十何萬圓ト云フ金額ニナルノデアリマス、  
サウシテ其ノ鐵道會社ハ百五十六ト云フコ  
トニナルノデアリマス、七百五十萬圓ノ豫  
算ニ對シマシテ八百六十何萬圓ト、斯ウ云  
フコトニナツテ參リマスカラシテ、チヨット  
百萬圓バカリ引カナケレバナラス、ソコデ  
百五十六ガ幾ツ減ルノカト云フト、是ハ大  
キイ鐵道ヲ引キマスノト、小サイ鐵道ヲ引  
キマスノト、餘程變ツテ參リマスカラ、ハッ  
キリシタコトヲ申上ゲラレマセヌガ、百三  
十トカ百四十トカ云フ、斯ウ云フ補助ノ數  
ニナルノデハナイカト想像サレル譯デアリ  
マス、最後ニ御質問ノ低金利ダカラトシテ、  
直ニ一分減ラシテ、ソレデヤッテ行ケルダラ



ウト、左様ニ簡單ニ考ヘテ譯デハナイノデアリマス、從來ノ補助會社ノ實際ノ情況ヲ見テ居リマスルト、營業收支デ以テ、既ニ赤字ガ出テ居ルト、斯ウ云フ鐵道ハアリマス、併シナガラ大多數ノ鐵道デ營業收支ハ無論黒ニナッテ居ル、唯利子ヲ拂ヒサヘスレバ其處デ赤ガ出ル、斯ウ云フ鐵道ガ大部分ナノデアリマス、尙其ノ他ニモウ補助ヲ必要トシナイ限界ニ近イヤウナ鐵道、是ハ餘程成績ガ好イ譯デアリマスガ、サウ云フ兩極端ノ鐵道ヲ除イテ、大量觀察ヲ致シテ見マスト云フト、營業收支ハ黒ニナッテ、利息ヲ拂フト零ニナルトカ、或ハ赤ニナルトカ、斯ウ云フ鐵道ガ實ハ非常ニ多イノデアリマス、サウシテ先刻私ガ申上ゲマシタ各鐵道會社ニ、ソレノ具體的ノ計畫ヲ交渉シテ、補助ノ費用ヲ出シテ居ルト申上ゲマシタガ、其ノ具體的ノ計畫ト云フモノノ多クノモノハ、借金ノ利子ヲモウ少シ待ッテ呉レ、斯ウ云フ交渉ガ實ハ多クカタノデアリマス、銀行ニ對シテハ或程度マデ利害ノ相反スル立場ニ立ッテ譯デアリマスルガ、補助鐵道ノ實情ヲ見マスルト、非常ニ此ノ點ガ私共カラ見マスレバ、一番重要ナ點ノヤウニ考ヘマシタノデ、サウ云フ風ナ話ヲ何時モ致シテ參ッ

ハ御承知カトモ考ヘマスルガ、殊ニ地方鐵道ノ債務ノ狀態ハ、非常ニ平均ニ金利ガ下ッテ參リマシテ、昭和七年末ニ六分四厘デアリマシタモノガ、十年度末ニハ四分八厘ニ下リ、最近ニハ四分七厘マデ下ッテ參ッテ居ル、斯ウ云フ譯デゴザイマスルノデ、五分ヲ四分ニ減ラスト云フコトデモ、マア折角鐵道會社ガ金利ヲ下ゲテ參ッヤツヲ、鐵道省ガ一分補助金ヲ減ラセバ今マデノ努力ガ全然ナクナルト云フヤウナ見方モ出來ルカモ知レマセヌケレドモ、併シ一分下ゲルト云フコトハ、他ノ鐵道會社ニ此ノ補助金ヲ均霑サセルト、斯ウ云フコトニモナル譯デアリマスル、其ノ點ハ補助ヲ受ケル鐵道ニ我慢ヲサセルト云フコトモ、マア已ムヲ得ナインデヤナイカト云フ風ニモ考ヘラレマスル譯デアリマス、尙私共ノ差當リノ理想ト致シマシテハ、四分ヲ目標トシテ、此ノ四分ノ點マデハ總テノ地方鐵道ヲ一日モ早く自力デ、行ケルヤウニ仕向ケテ行キタイト、斯様ナ考ヲ持ッテ居ル譯デアリマス

○男爵大藏公望君 私明日ハ第六分科ノ方ニ參リマスノデ上レマセヌカラ、今日質問サシテ戴キマス、此ノ改正ハ何トナク私共ハ改惡デヤナイカト云フヤウナ氣ガスルノデスガ、或ハ私ノ考ガ間違ッテ居リマスカドウカ、一ツ御教ヘ願ヒタイ、ト申シマスルノハ一體國有鐵道ガ私設鐵道ヲ補助スル意味ハ何處ニアルカト云ヘバ、大體ニハ、鐵道ハ初メノ中ハドウシテモ成立タヌ、ドウシテモ十年ナラ十年、十五年ナラ十五年經ッテ成立ッテ行カナケレバ、ソレハ鐵道ノ計畫者ガ惡イノデ、ソレハ其ノ點ハ自然淘汰ニ委セル外ナイ、先ヅ初ノ内ダカラ補助シヤウト云フノガ趣旨デナイカト思フ、ソレガ初ノ見込ガ下手ダトカ、經營ガ下手ダトカ云フ風ナ爲ニ地方鐵道ガ瘦セテ行ク部分ヲ、國有鐵道ガ補助シテヤルト云フ趣旨デヤナイト思ヒマス、ソレデ今迄ノ分ハ當初開業以來十年ナラ十年、其ノ後延長モアツタヤウデスガ、其ノ初ノモノヲ延長シヤウ、斯ウ云フ御趣旨ノ分ガ今回擴張サレテ、不成績ノモノハ皆援助スルノダト云フ風ナ形ニナリマスルコトハ、自力更生ト云フ一般ノ氣風ニハ非常ニ違フノデヤナイカ、矢張り今マデ通りノ方ガ宜イノデヤナイカ、斯ウ云フ氣ガスルノデアリマスガ、第二ニ補助ノ方法ニ付テ伺ヒマシタガ、根本ノ其ノ點ハドウ見ルベキデセウカ、御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(前田積君) 極メテ御尤モダト思フノデスガ、先刻モ申上ゲマシタヤウニ、最近ニ於キマシテハ開業鐵道ト云フモノガ激減致シマシテ、從ッテサウ云フ方面カラ考ヘマスレバ、現行法ヲ其ノ儘ニシテ置ケバ、大體ニ於テソレデ宜イノデヤナイカ、只今大藏サンノ仰シヤイマシタ一人前ニナル迄ノ間ノ面倒ヲ見テヤルト云フ趣旨ノコトハ、今後開業スルモノモ勿論アル譯デアリマセウガ、ソレヲ除キマシテ考ヘマスレバ、現行法ヲ其ノ儘ニシテ置ケバソレデ宜イ、斯ウ云フ是ハマア事實問題デアリマスルガ、所ガ左様ナ意味ノ補助ヲ從來與ヘテ參リマシテ、サウシテ結果ヲ今日振返ッテ見マスルト、十年間ノ補助ニ依リマシテ、立派ニ一人前ノ鐵道ニ仕上リマシタモノモ澤山アリマス、所ガ一人前ノ鐵道ニ成リ切ラナイト云フモノガ澤山アル譯デゴザイマス、觀方ニ依リマシテ、十年モ經ッテ一人前ノ鐵道ニ成リ切ラナイモノハ、モウ無用デアル、斯ウ云フ風ニ必ズシモ判斷ハ出來ナイノデヤナイカ、無論今日ノ新シイ交通機關モ出來テ參リマシタヤウナ時ニナリマシテ、必ズシモ地方鐵道デナクテモ宜イ、斯ウ云フモノモ無論此ノ中ニハアルコトハアルト考ヘマス、併シナガラ必ズシモ新シイ交通機關ガ、地方鐵道トシテハモウ要ラナクナッタノダカラ、ドウナッテモ宜イト云フモノノバカリニハ限ラナイノデアリマス、依然トシ



テ地方鐵道トシテ存續セシメルコトガ、公益上必要ナルモノガ澤山アルノデハナイカ、將來ニ實ハ考ヘルノデアリマス、從ヒマシテ四分ニ充タナイ利益シカ擧ゲテ居ナイ地方鐵道ガ過半數ヲ占メテ居ルト云フ現状ヲ、其ノ儘放置シテ置クコトハイケナイノヂヤナイカ、斯様ニマア考ヘテ居ル譯ナンデゴザイマス、無論補助ト云フ方法ハ、是ハ此ノ補助金ヲ支給スルコトニ依リマシテ、何トカ自力更生ノ考ヘ方ト相俟ッテ、立派ナ鐵道ニナッテ、社會ノ公益ヲ増進スル任務ヲ果シ得ルヤウニ仕上ゲテ行クト云フコトガ、唯一ノ目的デアル譯デアリマスガ、從ヒマシテ補助金ヲヤツテモ是ハ役ニ立タナイ、到底其ノ鐵道ヲ更生セシムルコトガ出來ナイヤウナ地方鐵道ニ對シマシテ、補助ヲ與ヘル意思ハ行政方針トシテ持ッテ居リマセヌ譯デアリマス、從ヒマシテ私ノ先刻申上ゲマシタ百六十デ、八百六十萬圓ト斯様ニ申上ゲマシタ中ニハ、マダサウ云ツタヤウナ補助ニ依ッテ救済ト申シマスカ、更生ト申シマスカ、セシムル必要ノナイヤウナモノヲ包含シテ居ルモノガアルドラウト考ヘテ居リマス、總テノ四分以下ノ鐵道ハ只今補助スル必要ガナイト考ヘラレマスルヤウナ鐵道ト、同一ニ見マスコトハ、ドウ

カト斯様ニ考ヘマスル譯ナンデゴザイマス、矢張り其ノ中デ有要ナルモノハ成立タシテ行クヤウニスルコトガ、公益上必要ナンデハナイカト、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○男爵大藏公望君 サウシマス、私ノ考

ガ間違ッテ居ッタノヂヤアリマセヌノデ、唯意見ノ相違ニナルヤウデアリマス、若シ十年ガイケナケレバ十五年ニスルノモ宜シイガ、併シナガラ成立タヌモノハ皆助ケルノダト云フ風ナ……皆ト言フノハ語弊ガアルカ知レマセヌガ結局ハサウナリマセウ、ト云フ風ナコトハ私共トシテハ寧ロ考ヘ方ガ、改惡ダト云フ風ニ考ヘラレルノデアリマス、併シ議論ノ問題ヂヤゴザイマセヌノデ、大體ハ諒承シマシタガ、然ラバ其ノ補助サレル金ト云フモノハ先程御話ノアッタヤウニ、其ノ鐵道ノ復活スルヤウニ使ッテヤリタイ、例ヘバ大部分ノ地方鐵道ハ非常ニ運賃ガ高いノデアリマスカラ、其ノ補助金ニ依ッテ運賃ノ引下サセル、若シハ終端驛ニ於ケル連絡ガ惡イ爲ニ其ノ鐵道ガ利用サレナイナラバ、鐵道省ノ金ニ依ッテ、公益ノ爲ニ施設ノ改良ラシテヤリ、車ノ改良ラシテヤルト云フコトニ專ラ御使ヒニナッテ、サウシテ其ノ鐵道ガドウカ自力更生デ復活

スルノニ、サウ云フ施設上若シハ運賃上ノ援助ラシテヤル、ソレデ尙活キ返ラヌナラバ是ハモウ仕方ガナイト云フコトノ見極メラナスッデハ如何デアルカ、先程御話ノアッタヤウニ、之ヲ銀行ノ利息ノ支拂ノ方ニ廻サレルト云フコトデハ、是ハ何時マデ經ッテモ復活シナイ、兔ニ角誰ガ考ヘマシテモ、専門的ニ見マシテ、斯ウスレバ更生スルト云フコトニ專ラ金ヲ使フト云フノガ必要デアリマセウガ、今後主トシテサウ云フコトニ御使ヒニナルノデアリマセウカ、如何デゴザイマスカ

○政府委員(前田種君) 先刻御説明申上ゲ

マシタ時ノ私ノ言葉ガ足りナカッタカトモ考ヘマスガ、命令ニ使途ヲ定メマスル際ニハ、言葉マデハマダ實ハ能ウ極メテ居リマセヌノデスガ、設備其ノ他ノ施設ノ改善、ソレカラ運賃ノ低減、實ハ設備ノ改善ノ爲ト、ソレカラ運賃ノ低減ノ爲ト、會計的ニ申セバ何ダカサウ竝ベルノハラカシイカトモ考ヘマスガ、サウ云フ點ハ姑ク御免ヲ蒙リマシテ、サウ云ツタコトニ充テテ餘リガアルトカ、或ハサウ云フコトガ差當リ必要デナイト云フ場合ニハ、借金ノ利子ニ充テルトカ、斯ウ云フ考方デ居ル譯デゴザイマス、無論借金ノ利子ヲ拂フト云フコトハ其ノ會

社ノ義務デハアル譯デアリマスガ、補助金ヲ支給スルト云フコトハ、結局其ノ會社ヲ向上セシメルト云フコトガ唯一ノ目的デアリマス、從ッテ其ノ會社ガ成績ガ良クナレバ、債權者ガ其ノ會社カラ自分ノ債權ノヨリ完全ナル辨濟ヲ受ケル、斯ウ云フモノドラウト、斯ウ考ヘテ居リマス譯デアリマス、從來使途ニ關スル規定ガ何モ無カッタモノデアリマスカラ、ソレデ場合ニ依リマス、債權者カラ鐵道省ニ對シテ補助金ニ對シマスル轉付命令ナンカ來ル場合ガアルノデアリマス、サウシテ非常ニ鐵道省ト致シマシテ補助金ヲ何ダカドウモ工合ガ惡イヤウナ、マツイヤウナ方法ニ使フト云フコトニナルト云フコトヲ殘念ニ考ヘマシテ、異議ノ手續ヲ致シタリ何カシタコトモアルノデアリマスガ、判決デハ負ケテ居リマス、結局或債權者ニ差押ヘラレルト云フコトガ、從來ノ私共ガ甚ダ遺憾ニ考ヘテ居ッタコトナンデアリマス、使途ヲ命令デ定メマシテ、果シテ私共ガ豫期シテ居ルヤウナ效果ヲ裁判上完全ニ收メルカドウカト云フコトハ、是ハチヨット分リ兼ネル次第デアリマスルケレドモ、多少トモソレハサウ云フ場合ニ有效ナノデハナイカト、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、御趣旨ハ、只今ノ點ニ付

キマシテハ完全ニ一致シテ居リマス、左様ニ考ヘテ居リマス

○男爵大藏公望君 ドウカ今御話ノヤウ

ナ、運賃引下トカ、施設ノ改善トカ云フ方ニ、十分ニ御用ヒテ願ヒタイ、私共ハ殆ド日本ノ私設鐵道ノ運賃ガ皆高イト稱シテ居リマスノデ、今後補助サレル鐵道ハ悉ク運賃ガ引下ゲラレルモノダト今カラ覺悟シテ、今後ノ成績ヲ拜見シタイト思フノデアリマス、ソレカラ先程御説明ガアリマシタ中ノ「コスト」ノ計算ガ二人ト一「トン」ト同ジニ見テ居ルト云フ御話デアリマシテ、是ハ今マデハ已ムヲ得マセヌガ、最近鐵道省デハ此ノ計算ヲ非常ニ詳シクハスツテ、モウ既ニ大凡出來上ツテ居ルト云フ風ニモ承ツテ居ル、近ク省議ヲ以テ御決定ト思ヒマスルガ、其ノ省議御決定ニナリマシトラバ、假ニ二對一ヲ二對二・六ト云フ風ニ御改メニナルノデアリマスカ、ソレトモ四捨五入デモナスツテ二・六ノモノヲ二對三トナサルノデスカ、ドウ云フ御方針カ承リタイ

○政府委員(前田穰君) 「コスト」ノ調査ガ

完成致シマシタソレニ依リマシテ、サウシテ地方鐵道特殊ノ事情ヲ多少加味シナケレバナラヌヤウナコトニナルカモ知レヌト思ヒマスケレドモ、大體アノ精密ナル調査ヲ

尊重シテ参リタイト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○男爵大藏公望君 其ノ「コスト」ノ計算、

先程別ノ委員會デモ御願ヒシテ、年々御計算ニナルヤウニ申上ゲタノデス、若シサウシマス、矢張り年々ノ計算ガ違ツテ参リマス、矢張り鐵道省ノ御計算ニ從ツテ計算モ違ツテ参リマスト承知シテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(前田穰君) マダソレヲ地方鐵

道ニ其ノ儘ニ適用シテ宜イカ惡イカト云フコトノ調査ヲ致シテ居リマセヌノデ、何トモ御答ヘ申上ゲ兼ネル譯デアリマスガ、若シ鐵道省ノ「コスト」ガ年々繰返サレテ参リマススレバ、ソレヲ參考ニシテ行カナクチャナラヌモノト思ヒマス

○男爵大藏公望君 ソレカラ今度ノ規則ニ

依リマス云フト、大體ニ補助金額ガ自動的ニ極ツテ來ルヤウニ思ヘレル、サウシマス、是レハ景氣ガ好イカラ宜シイガ、不景氣ガ來マス直グト四分以下ノモノガ非常ニ殖エル、忽チニ七百五十萬圓デハ足ラヌ、先程ノ話ニ依ツテモ既ニ八百六十萬圓ト云フ御話デアリマシタガ、景氣ガ惡クナルトサウハ行カヌ、非常ニ下ツテ参リマス、サウシマスト分配ノ時分ニ各鐵道ガ非常ニ不

安ニナツテ、昨年マデハ是レノ補助ヲ得タモノガ、今年ハ不景氣ダカラ一層餘計ニ貫ハナケレバナラヌモノガ、一層少クナルト云フモノデハ工合ガ惡イノデ、自然ト補助費ガ殖エテ來ハシナイカト心配サレマスガ、如何ナモノデアリマスカ

○政府委員(前田穰君) 此ノ改正法ハ五年

ノ期限ニナツテ居ル譯ナノデアリマス、其ノ間ニ於キマシテ多少景氣ノ上下ヘノ動キハアリマセウト思ヒマスケレドモ、現行法ニ依リマシテ補助ヲ受ケマス程度ガ年々減ツテ参リマス、從ヒマシテ其ノ方面カラ大分金ガ浮イテ參ルコトニナツテ居ル譯デゴザイマス、非常ニ急激ナ變化ガ起レバソレハ格別デアリマスケレドモ、サウデアリマセス以上、多少景氣ガ惡クナツタト云フヤウナ場合ハ、大體サウ浮動セズニ行クモノト思ツテ居リマス

○男爵大藏公望君 ソレカラモウ一ツ承リ

タイノデスガ、先程兼業ニ依ル利益ヲ加ヘテ百分ノ四以上ノ時分ニハヤラナイト云フ御話デアツタガ、兼業ニ依ツテ受クル利益ヲ加ヘテ尙百分ノ四以下ト云フ時分ニ鐵道省ノ御出シニナツタ補助金ト本業兼業ニ依ツテ受クル利益トヲ加ヘテ百分ノ四以上ニナツタ時分ニハ、矢張り本業ノ方ヲ御考ニナツ

テ、兼業ノ方ヲ加減爲サルノデスカ、ソレトモ其ノ時分ニハ兼業ノ方ハ加減爲サラナイノデスカ

○政府委員(前田穰君) 先刻申上ゲマシタ

言葉ガ惡カッタカモ知レマセヌガ、兼業ハ一ツノ、補助ノ消極的の限界ノ一ツニ考ヘテ居ル譯ナノデアリマシテ、兼業ヲ合セマシテ年ニ配當ヲシテ居ルノヲ常トスル、斯ウ云フヤウナ地方鐵道ニ對シマシテハ、全然補助ノコトヲ考ヘナイ、斯ウ云フコトヲ申上ゲタ譯ナノデアリマシテ、一應配當ヲ五分トシヤウト今思ツテ居ルノデゴザイマシガ、兼業ヲ合セテ五分以上ノ配當ヲスルコトヲ常トシテ居ル鐵道ハ、モウテンカラ補助ノコトヲ考ヘナイ、斯ウ云フコトヲ申上ゲタ譯デゴザイマス、サウデナシニ本業ハ建設費ノ三分ナラ三分ニ利廻リガナル、サウ云フ場合デアリマスルナラバ其ノコトヲ見テ、補助ヲ調査スルト云フ段取りニナル譯デアリマシテ、サウシテソレガ更ニ例ヘバ兼業デ澤山儲ケテ居ル、併シナガラ五分ノ配當ヲスルマデニハナツテ居ナイ、斯ウ云フヤウナ場合ガアルダラウト思フノデス、其ノ場合ニ結局他ノ地方鐵道トノ關係ヲ考慮致シマシテ、何シロ地方鐵道ハドレモ利益ト合セテ四分ト云フコトヲ目標ニ致シテ

居ル譯デアリマスノデ、サウ云ツタ大體ノ目  
標ヲ兼業ト併セテ考ヘテ見マシテ、上ノ方  
ヘ超エルヤウナモノニ對シマシテハ、サウ  
補助ヲ急ニスル必要モナイカト考ヘテ居リ  
マス、權衡ヲ得テ具體的ニ決定シテ参リタ  
イ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○男爵大藏公望君 今ノ御話ハ分リマシタ  
ガ、ソレハ寧ロ兼業本業ヲ合シテ百分ノ四  
以上ノ時分ニハ全然ヤラスト爲サツタ方ガ  
明瞭デナイデセウカ、兼業ト本業トヲ合シ  
テ百分ノ四・八ト云フ時分ニハ、其ノ鐵道ノ  
振合ヲ見デヤルト云フ風ナコトヨリハ、矢  
張り其ノ鐵道ノ兼業モ鐵道ノ收益ニナルノ  
デ、合セテ四分以上ノ時分ニハ補助スルト  
云フコトニ爲サルベキデヤナイカト思フノ  
デスガ、何カ特別ノ理由ガアツテ、兼業ノ時  
分ノ利益ヲ加ヘテ四分八厘マデハ宜イ、四  
分九厘ナラヤラスト云フ風ナ理由ガアルノ  
デセウカ

○政府委員(前田權君) 格別サウ云フ點ニ  
付テ考ヘマシタ譯デハナイノデアリマス、  
其ノ邊ハマア今日マデノ考ヘ方ト致シマシ  
テハ、行政方針デソレノ權衡ヲ見テヤッ  
テ行ケバ宜イノデヤナイカト、斯様ニ考ヘ  
テ居リマシタ譯デアリマスガ、御趣旨ニ依  
リマシテ其ノ點ハ能ク省令ヲ作リマス時ニ

研究致シタイト思ッテ居リマス

○水野甚次郎君 新線開業ノ哩程表ヲ戴キ  
マシタノデスガ、尙参考ノ爲ニ國有鐵道ノ  
昨年末マデデモ結構デアリマス、此ノ表ニ  
アリマサウナ十年末マデノデモ結構デア  
リマスガ、國有鐵道、地方鐵道ノ全線ノ哩  
程表ヲ御示シ願ヒタイ

○政府委員(前田權君) チョット聴取レマ  
セヌデシタガ、國有鐵道、地方鐵道ノ開業  
シテ居リマス「キロメートル」ノ總數ヲ知リ  
タイ、斯ウ云フノデスカ

○水野甚次郎君 サウデゴザイマス

○政府委員(前田權君) ソレハ明日御覽ニ  
入レマス

○風間八左衛門君 参考書ノ序デスガ、衆議  
院デ參考書ヲ御出シニナツタ時ニ、此ノ外ニ何  
カ御出シニナツタモノガアレバ、此ノ際戴イテ  
置イタ方ガ大變結構ダト思ヒマスガ……

○政府委員(前田權君) 此ノ表ハ此ノ間衆  
議院デモ差上ゲマシタヤウデスカラ、差上  
ゲマス

○青木周三君 他ニ御質問ガナケレバ私少  
シ伺ッテ置キタイト思フノデスガ、大體大藏  
男爵ト同ジ趣旨ノ疑ヲ懷イテ居ツタノデス  
ガ、大藏男爵ノ御質問ニ對シテ御答ニナツタ  
所デ略、御趣旨ハ分ツタト思ヒマスガ、尙根本

方針ニ付テ少シ聴取リニクカツタ點モアリ  
マスカラ、少シ重複スル點ガアルカモ知レ  
マセヌガ、モウ一度伺ッテ置キタイノデス、  
大藏男爵ガ言ハレタヤウニ、現在ノ法律ハ  
鐵道ヲ守リ立テテ行カウト云フ趣旨デアッ  
テ、鐵道ガ存立シテ行ケルヤウニト云フ趣  
旨デ出來テ居ルヤウニ見エテ居ル、今回ノ

改正法ハ其ノ方ヲ見限ッテ損失ヲ補償シテ  
ヤルノダ、ドウモ國家ノ爲ニ私設鐵道ヲ設  
ケタノデアアルカラシテ、損ヲシテハ氣ノ毒  
ダカラ損失ヲ補償シテヤラウト云フヤウナ  
趣意デ、大體ニ於テ補助ノ精神ガ變ッテ來タ  
ノデヤナイカ知ラント思ハレルヤウナ節ガ  
アルノデスガ、大體サウ云フ風ニ考ヘテ差  
支アリマセヌデスカ

○政府委員(前田權君) 補助ノ精神ガ變リ  
マシタコトハ正ニ其ノ通りデアリマスガ、  
私共ノ今考ヘテ居リマス點ハ、地方鐵道ノ  
中ニハ無論要ラナイモノモアラウガ、要ス  
ルモノモアル、要ル地方鐵道ニ對シマシテ  
ハ、兎ニ角今日四歩ノ利益モ舉ゲテ居ナイ  
ト云フコトデハ、永ク存続スルコトストラ出  
來ナイデヤナイカ、假ニ細々存続シ得マシ  
テモ、效用ヲ完全ニ果タスコトガ出來ナイ  
デハナイカ、ソレデハ困ルカラ運営ヲ保持  
シ、效用ヲ増進セシムル爲ニ、只今ノ言葉

ヲ拜借致シマスレバ、守リ立ッテ行ッテ、大  
體四歩ヲ目標トシテ、其處マデ漕付ケサシ  
テ行キタイ、斯ウ云フ精神デアリマスノデ、  
損失補償ト云フ風ニハ實ハ考ヘテ居ナイノ  
デアリマス

○青木周三君 鐵道ノ中デハ初ノ建設ノ時  
カラ、或ハ鐵道省デ見ル所ニ依ッテハ、寧ロ  
ソナナ鐵道ハカケテモ利益ガ無イシ、若シ  
其ノ鐵道ハ、或ハ鐵道省ノ省線ト竝行シテ、  
寧ロ不必要デアアル上ニ持ッテ行ッテ、資本ノ  
二重投下ニモナルカト思ハレルヤウナ點ガ  
アルコトヲ注意シテモ、十分儲カルト云フ  
ヤウナ意見デカケタモノガアルト思フ、ソ  
レニ對シテモ尙損失ノ補償ヲシテヤラナク  
チヤナラスト云フノハ、少シ補助ガ行キ過  
ギルノデハナイカ知ラヌト云フヤウナ感じ  
モナイコトハナイノデアリマス、ソレカラ  
又今回ノ改正法律ニ依ッテ、モウ既ニ十年間  
補助ヲ受ケテ、サウシテ補助ノ望ミガ絶エ  
テ數年ニ及ンデ居ル鐵道ガ、再ビ又此ノ法  
律ニ依ッテ補助ヲ受ケルヤウニナルヤウニ  
見エル、ソレ程マデニスル必要ガアルカド  
ウカト云フヤウナコトモ考ヘラレルノデス  
ガ、其ノ邊如何デゴザイマセウ

○政府委員(前田權君) 誠ニ御尤モナ御懸  
念ダト思フノデアリマスガ、從來鐵道ヲ免

許致シマス際ニ、採算上ニ付テ疑問ヲ有ツタ鐵道ガアツタヤウデアリマス、私ガ今日ノ職ニナリマシテカラハ、殆ド鐵道ノ免許ト云フモノガアリマセヌガ、其ノ以前ノ記錄ヲ振返ッテ見マス時ニ、時々サウ云フ書類ニブツカルノデアリマス、サウ云フ際ニハ將來、補助ヲシナイ、斯ウ言ツタヤウナ條件ヲ附ケテ居ルモノモアリマス、又條件ヲ附ケナイマデモ、地方鐵道ノ方カラ補助ハ決シテ御願ヒシナイ、斯ウ言ツタヤウナ申出ガアリマシテ、サウ云フコトヲ免許ノ際ノ判斷ノ一ツノ材料トシテ提出シタコトデアラウト斯ウ思ハレマスヤウナ地方鐵道モアルノデアリマス、又只今御述べニナリマシタヤウニ、何ダカ國有鐵道ト併行シテ居ルヤウナ、場合ニ依ッテハ要ラナイノデハナイカト思ハレルヤウナ鐵道ニ補助ノ行ッテ居ツタ例モアルヤウデアリマス、併シナガラソレハソレゾレ理由ガアツテ豫定線ノ代行ト云フヤウナ意味デアリマス、或ハ或部分ニハ併行的ノ所ガアルケレドモ、或部分ニハ利用的ノ所ガアルト云ツタヤウナ事情デ、補助ヲサレテ居ツタノダト思フノデアリマス、地方鐵道ノ全體ヲ考ヘテ見マスルト、先刻來申上ゲテ居リマスルヤウニ、中ニハ極ク端的ニ申セバ今日トシテハ無クテモ宜イ、斯ウ

云フ鐵道モ無論アラウト思ヒマスガ、又私共モサウ云フコトヲ今後補助ヲ實施致シマス際ニハ、能ク鑑別シテ極メテ參ラナケレバナラスト斯ウ考ヘテ居リマスルノデアリマスルガ、必ズシモサウ云フ國家的ニ申シテ、之ガ潰レテシマッテモ公益カラハ大シタ支障ガナイ、斯ウ考ヘラレル鐵道バカリデハナイノデアリマス、今日ニ於キマシテモ、實ハ其ノ鐵道アルガ爲ニ、交通上ノ利便ヲ一般公衆ガ非常ニ受ケテ居ルト云フヤウナモノガ多々アツテ、而モソレガ非常ニ現狀ニ於テハ貧弱デアル、成績ガ惡イ、此ノ儘放置スレバ潰レヤシナイカ、斯ウ云フモノガ多々アルコトモ亦疑ヒノナイコトダラウト思フノデアリマス、其ノ點ハ御認メ願ヘルノデヤナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマス譯デアリマス、要ハ今後必要ナル地方鐵道ヲ補助スル、不必要ト認メラレルヤウナ地方鐵道ニ補助シテハイケナイゾ、斯ウ云フ御訓誡ノヤウニモ實ハ御伺ヒスルノデアリマス、若シサウ云フコトデアリマスレバ、私共ガ元來サウ云フ風ニ參リタイト云フコトヲ考ヘテ居ル譯デゴザイマス、御注意ノ點ハ十分注意シテヤッテ參リタイト斯様ニ考ヘテ居リマス

○青木周三君 尙少シ研究シテ置キタイト  
思ヒマスガ、現行法ノ制定セラレマシタコトハ、可ナリ古イ時代デ、私共モ其ノ當時ノ當局者デナカッタ爲ニ詳シイコトハ存ジマセヌガ、百分ノ五ノ十年間補助スレバ、建設費ノ二分ノ一ノ金ヲ株主ニ返シテヤル、ソレノ金利ヲ見積ルト云フト、凡ソ二十年位經テバ建設費ハ全部國家ガ支拂フテヤルト云フヤウナ考ガ、法律制定ノ當時ニハアツタト云フコトヲ私聞イデ居リマスガ、全部ヲ支拂フト云フ程的確ナ考ガアツタカドウカハ存ジマセヌガ、少クトモ百分ノ五ヲ十年拂ヘバ、建設費ノ半分ハ株主ニ返ル、斯ウ云フヤウナ考ハ是ハハッキリアツタト記憶シテ居リマスガ、今度ハ五年ト切ラレタケレドモ、此ノ五年ハ將來五年デ之ヲ廢スルコトハ或ハ困難デハナイカ知ラント思フノデアリマス、今ノヤウナ精神ト云フモノハ、全ク今度ハ新規蒔直シニナツタヤウナ氣ガスルノデスガ、ソレ等ニ付テハ何カ考ヘラレタコトガアリマスカ

○政府委員(前田稯君) 只今御示シノヤウニ、年五分デ十年補助スルト、建設費ノ半分ト云フコトニナル譯デアリマスガ、極ク初ナ頃ノ一定ノ計畫ヲ以テ、今年ハ二萬圓ノ補助スルトカ、來年ハ三萬圓ノ補助ヲスルトカト言ツタヤウナ、極ク最初ノ少イ時分ノ補助ノ計算ニ依リマスレバ、サウ云フ風ニナル筋合デアリマスガ、其ノ後補助ガ段々殖エテ參リマシテ、新線ガアツテ、サウシテ政府ニ於テ必要ト認メマスル地方鐵道ノ補助ヲ全部支給致シマスレバ、莫大ノ金ガ掛ル、豫算ヲ超過スルト云フヤウナ情勢ニナツテ參リマシテカラ後ハ、御承知ノ通りニ、區間ノ補助ト云フコトヲ致シテ參ッテ居ル譯デアリマス、從ヒマシテ補助ヲ十年間受ケタ、斯ウ云フ地方鐵道ハ必ズシモ補助ヲ全線ニ互ッテ十年間受ケテ參ッタノデハナイノデアリマシテ、無論中ニハ全線ニ互リマシテ十年間補助ヲ受ケタノガアルモノモ無論アルノデアリマスガ、必ズシモ是ハ常ニサウデハナイノデアリマス、中ニハ僅カニ、十年ノ滿期ニナラウトスル前ニ二萬圓ナリ三萬圓ナリノ補助ヲ受ケタモノスラモアル譯ナノデアリマス、從ヒマシテ、計算上デハ十年デ建設費ノ半分ト、斯ウナリマスルケレドモ、從來ノ實際ノ情況ニ於キマシテハ、必ズシモサウ云フ割合デ補助ヲ受ケタモノダトハ考ヘラレナイモノガ多々アル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレデ今回ノ補助ハ、サウ云フ資本ヲ鐵道ニ吸收スル、斯ウ云フ目的ノ爲メノ補助デハナクナツテ、先刻大藏サンカラ色々

御話ガアリマシタヤウニ、實際私共ガ各地  
方鐵道ニ對シマシテ色々話ヲ致シテ居リマ  
ス際ニ、玆ニモウ一萬圓モアレバ、停車場  
ノ裏マデ來テ居ル線路ヲ驛マデクッ付ケル  
コトガ出來ル、サウスレバ是ハ貨車ノ直通  
モ出來ルシ、旅客モ非常ニ便利ニナッテ、ソ  
レ等ノ取扱ガ樂ニナルノデアル、樂ニ汽車  
ニ乗レルシ、又貨物ヲ積ムコトガ出來ルノ  
デアリマス、併シ此ノ驛ガチヨイト僅カバ  
カリ離レテ居ル爲ニ、「トラック」ダトカ或ハ  
「バス」ニ乗ッテ居ルト云フ所モアルノデス、  
斯様ナ場合ニハ、其ノ線路ヲクッ付ケル費  
用ヲ何トカシテ捻出セシメルト云フコト  
ガ、此ノ鐵道ヲ更生セシメル所以デモア  
リ、又鐵道ノ機能ヲ發揮セシメル所以デモ  
アル、サウ言ッタヤウナコトヲ中心ニ考ヘマ  
シテ、又サウ云フ方面カラ鐵道ノ向上ヲ、  
單ニ近頃マデノ補助金ノ交付ノヤウニ、機  
械的ニバカリ考ヘナイデ、具體的ニドウ云  
フ風ニ此ノ金ヲ使ッタナラバ、個々ノ地方鐵  
道ト云フモノヲ更生セシメ、其ノ鐵道ノ機  
能ヲ十分ニ發揮セシムルコトガ出來ルダラ  
ウカト云フコトヲ研究シテ、サウシテ其ノ  
方面ニ金ヲ使ハセル、斯ウ云フ風ナ、何ト  
言ヒマスカ、一定ノ計畫ヲ立テ、之ニ對シ  
テ補助シテ參リタイ、サウシテ其ノ地方鐵

道ヲ少クトモ四分ノ程度マデ守リ上ゲテ行  
キタイ、斯ウ云フ考ヘ方ナノデアリマス、  
無論從來ノ補助規定ニ何等ノ關聯ナク、今  
同ノ補助ダケヲ考ヘルト云フコトハ出來ナ  
イダラウト思ヒマスガ、マア見方ニ依リマ  
シテハ、從來ノ補助ト云フモノト離レマシ  
テ、兎ニ角現狀ヲ見テ、サウシテ此ノ現狀  
カラ地方鐵道ノ必要ナモノノ向上ヲ圖ッテ  
貫ヒタイ、斯ウ云フ考ヘ方ナノデアリマス  
○青木周三君 尙少シ伺ッテ置キタイと思  
ヒマスノデスガ、只今言ハレタ所ノ點ニ付  
テモ、モウ少シ質問シヨウト考ヘテ居ルノ  
デス、此ノ使途ニ付テハ鐵道省デ指定セラ  
レルト云フ話デゴザイマシタケレドモガ、  
鐵道省ノ補助金ト云フモノハ、大體此ノ法  
律ノ組立テカラ考ヘテモ、配當ニ充テルベ  
キ性質ノモノダト私ハ考ヘテ居リマス、一  
分ニ足リナケレバ四分ニマデヤルト云フノ  
ハ、大體ニ於テ是ハ配當若シクハ借入金ノ  
利子ノ支拂ニ充テルベキモノダラウト私ハ  
思フ、又此ノ補助ヲ受ケル會社ノ全部ハ配  
當若シクハ借入金ヲ利子ニ充當スモノダト  
考ヘラレルノデスガ、先程カラノ御説明ニ  
依ルト、營業費デアルカ或ハ改良費デアル  
カト云フモノニモ使用サセラレルヤウナ規  
定ガ設ケラレルノヂヤナイカト云フヤウナ

氣味デアリマスガ、サウ云フ風ニセラレル  
ノデアリマスガ、私共ハ此ノ使途ト云フモ  
ノハ、是ハ銀行ノ支拂カ、配當ニ入レルカ  
ト云フヤウナコト以上ノコトニ考ヘラレル  
ノハ、少シ無理ヂヤナイカト云フ氣ガシマ  
スガ、ソナナコトハアリマセスカ  
○政府委員(前田稷君) 只今御話ニナリマ  
シタヤウニ、從來ノ補助金ハ建設費ノ五分  
ヲ支給スル、斯ウ云ッタ時代ニハ、恐ラクハ  
最初ノ考ヘ方ト致シマシテハ、配當ヲ保證  
スルト云ッタヤウナ意味カラ、資金ヲ地方鐵  
道ニ吸收スル、是ガ無論目的デアッタラウト  
斯ウ考ヘルノデアリマスガ、今回ノ此ノ改  
正案ハ、其ノ點ニ付キマシテ非常ニ趣旨ヲ  
異ニ致シテ居ル積リデアリマス、ト申シマ  
スル譯ハ、同ジヤウニ建設費ノ四分カラ益  
金ヲ控除シタ額ヲ限度トスルト云フ風ニ書  
イデアリマスコトハ、同ジヤウナ文句デア  
ルノデアリマスガ、併シナガラ第一條ノ全  
部ヲ御覽ヲ願ヒマス御分リニナリマスヤ  
ウニ、四分カラ利益金ヲ控除スルト云フコ  
トハ、是ハ或具體的ノ會社ニ補助金ヲ交付  
スル最高限度ト解釋シナイノデアリマシテ、  
補助金ノ計算ノ本筋ハ、命令ノ定ムル所ニ  
依ッテ補助金ヲ計算シテ交付スル、ソレガ偶  
利益金ト合セテ四分以上ニナリマスル場合

ニハ其ノ限度ニ定メル、斯ウ云フ最高限ヲ  
規定シタニ過ギナイノデアリマス、建設費ノ  
五分ヲヤルト云ッタ法律ノ趣旨ト、今度ノ  
運輸ノ數量ニ基キ命令ノ定ムル所ニ依ッテ  
補助金ヲ交付スルト云ッタ法律ノ言葉ト、ソ  
コノ所ニ差ガアル積リデ居ル譯デゴザイマ  
ス、從ッテ今回ノハ、配當保證ノヤウナ意味  
ヲ有ッテ居ナイ、運輸營業ヲ存続セシメ、更  
ニソレヲ一層改善セシメル爲ノ一助トシ  
テ、若干金額ヲ補助スルノダト、斯ウ云フ  
考方ニ致シテ居ル譯ナノデアリマス、從ヒ  
マシテ從來我々ガ行政方針トシテ建設費ノ  
五分ニ當ル金額ヲ補助スルト云フヤウナ、  
當初ハ恐ラク配當保證ト云フコトガ殆ン  
ド……配當保證ヂヤアリマセスカ、假リニサ  
ウ云フ言葉ヲ使ヘバ配當保證的ノ考ガ濃厚  
デアッタヤウナ、法律ノ實施ニ當リマシテ、  
使途ヲ盛ニ鐵道會社ト協議致シテ居ッタ  
云フコトハ間違ッテ居ッタノカモ、形式ニハ  
知レナイト思フノデアリマスルガ、併シソレ  
ニ依リマシテ鐵道會社ノ中デ餘程改善セラ  
レタモノモアッタヤウニ考ヘマス、今回ハ  
ハッキリト、サウ云フ點ヲ從來ト建前ヲ變ヘ  
マシテ、配當保證的ノ意味ノモノデハナ  
ク、斯ウ云フ風ニ致シタイト考ヘテ居ル譯  
ナノデアリマス

○青木周三君 諒承シマシタ、ソレカラ尙

少シ細カイコトヲチヨット伺ッテ見タイノデ  
スガ、先程ノ御説明ニ依リマスル、運輸數  
量ト云フ中ニハ距離ガ入ッテ居ルノダト云  
フコトモ分ッテ參リマシタノデスガ、人哩ト  
「トン」哩ト加ヘタモノガ運輸數量トナルノ  
ダト思フノデス、ソレカラ一ト二ノ割合ト  
云フ御話モ承リマシタガ、數量ガ一ト二ノ  
割合デ延ベルコトニナルノデスカ、「コスト」  
ノ方ガ一ト二ニナルノデスカ、ソコノ所ヲ  
チヨット伺ヒマス

○政府委員(前田權君) 只今ノ私共ノ考デ  
ハ旅客「トン」ト貨物「トン」ヲマア等シ  
イモノトシテ、先ヅ以テ人「トン」ヲ出シマ  
シテ、サウシテソレニ營業費ノ單價ヲ掛け  
テ二デ割ル譯デゴザイマスカラシテ、數量  
デ以テ旅客二ト貨物一トヲ等シイト、斯ウ  
見テ行カウト云フ譯デス

○青木周三君 少シ分リ兼ねマスルケレド  
モ、併シコノコトハ何レ後ニ伺フ時期ガア  
ルダラウト思ヒマス、ソレカラ借入鐵道ニ  
對シテモ補助セラレルノデスカ、如何デス  
カ、今回提出ニナリマシタ借入鐵道トシテ  
富士身延、白棚ノ兩鐵道ガアリマスガ、四  
分ニ滿タナカタ時ハ矢張り補助ヲセラレ  
ルノデスカ

○政府委員(前田權君) 借入鐵道ノ參考書

ガ御手許ヘ參ッテ居ルヤウデアリマスガ、是  
ハ今回提出ノ法律案ニハ全然關係ノナイモ  
ノデアリマスルガ、鐵道省デヤリマス新シ  
イ試ミデアリマスルノデ、鐵道關係ノ法律  
ヲ御審議願フ委員ノ方々ニ、御參考ニ御目  
ニ掛けタト思ヒマスガ、借入鐵道ニ對シマシ  
テハ是ハ借入金額ノ考ヘ方ヲ大體申上ゲレ  
バ、補助金ヲ如何ニスルカト云フ御了解モ  
戴ケルカト思ヒマスルガ富士身延ニ對シマ  
シテハ、只今ノ所デハ假ニ富士身延ヲ今日  
買收致シマスルモノトシテ、幾ラノ買收價  
格ニナルカ、サウシテ其ノ買收價格ノ三分  
五厘ノ金額ニ當リマスル額ヲ標準トシテ、  
借入金ヲ富士身延ニ支拂ッテ參ル、斯ウ云フ  
コトガ借入契約ヲ是カラ富士身延鐵道ト交  
涉シヨウトシマスル根本ノ點デアリマスル  
ノデ、從ヒマシテ鐵道省ハ富士身延鐵道ヲ借  
入レマシテ、借入料ヲ拂フト、是ダケデ富士  
身延ト鐵道省トノ關係ハソレダケノ積リデ  
居リマスル譯デ、從ヒマシテ其ノ借入金ガ  
年四分ニ當ッタ宜イガ、當ラナケレバソレ  
ニ補助ヲヤルカト云フヤウナコトハ考ヘテ  
居リマセス譯デアリマス、其ノ鐵道ノ運營ヲ  
鐵道省ガヤッテ居リマスル譯デゴザイマシ  
テ、謂ハバ財産ヲ富士身延カラ鐵道省ガ借

受ケル、斯ウ云フ形ニナル積リデ居リマス  
ルヤウナ譯デアリマシテ、結論ト致シマシテ  
ハ補助金ヲ支給シナイト、斯ウ云フコトニナ  
リマス

○青木周三君 サウシマスル例ヘバ白棚鐵  
道ノ如キハ、ドウ考ヘテモ借入料ガ恐ラク  
ハ四分ニハ滿タナイト思フノデスガ、サウ  
云フ場合デモ補助ノ、此ノ法律デ、大體ニ  
於テ各鐵道ハ皆古イモ新シイモ、補助ノ恩  
典ニ均霑スルニ拘ラズ、借入レヲセラレタ  
鐵道ハ、株主ハ其ノ補助ニ對シテ恩典ヲ受  
ケナイト云フコトニナルノデスネ、サウ云  
フ積リナンデスカ

○政府委員(前田權君) 白棚鐵道ナドガ四  
分ニハ當分ナリッコハナイト私共考ヘマス、  
白棚鐵道ハ御承知ノ通り鐵道會社自體トシ  
テハ、廢業シタイト申出テ居リマシテ、鐵  
道省トシテモ廢業サセルト云フコトガ、或  
ハ宜イデヤナイカト斯様ニ考ヘテモ居ッタ  
ノデアリマスルケレドモ、ドウモ地方ハ之ヲ  
買收シテ呉レト、サウデナケレバ困ルト、  
斯ウ云フ風ニ申シテ居リマスル譯ナノデ、  
マア中間ヲ取ルト申シマスガ、買收スルホ  
ドノ實ハ自信モナイノデアリマス、即チド  
ウシテモ白棚鐵道ハ存置シナクチャナラス  
モノデアルト、斯ウ云フ確信ガマダナイノ

デゴザイマス、併シ地方ノ言ヒ分ト會社ノ

言ヒ分ト併セ聞キマシテ、廢止サシテモ悔  
ヒハナイ、斯ウ云フ風ナ確信モ得ラレマセ  
ヌ譯ナノデ、從ッテ富士身延ノ借入レニ件ヒ  
マシテ、白棚モ借リテ模様ヲ見タラ宜イダラ  
ウト、斯ウ云フ事ニ決心シマシタ譯デゴザ  
イマス、之ヲ切り離シテ考ヘマシタ場合ニ  
ハ、補助ヲナス價值アリヤ否ヤト云フコト  
ノ結論ニ迷フト、斯ウ云フ風ナ鐵道ニ丁度  
該當スル譯ダラウト思ヒマス、只今白棚鐵  
道ヲ借入レルト、斯ウ云フコトニナリマシ  
タノハ、畢竟國有鐵道ノ開業ニ件ヒマシテ、  
白棚鐵道ニサウ云フ廢業シタイトカ、シテ  
ハ困ルトカ云フヤウナ事情ガ起ッテ來タ、サ  
ウ云フ狀態ニ白棚鐵道ガナリマシタコトハ、  
省線ノ水郡線ノ開通ノ影響デアリマシテ、  
從ッテ地方鐵道法ノ所謂省線ノ開通ニ依ッテ、  
省線ニ接近並行シテ居ル地方鐵道ガ影響ヲ  
被ッタ、斯ウ云フ點ニ入ル譯デアリマス、補  
助ノ點トソレカラ借入ノ點トハ無論關聯サ  
シテ考ヘル考ヘ方モアルトハ思ヒマスガ、  
只今ノ所デハ今申上ゲマシタヤウナ風ニ考  
ヘテ居リマスル譯デアリマス

○青木周三君 私ガ今白棚鐵道ト言ッタノ  
ハ、偶、借上ゲテモ四分ニ廻ラス例ニ引イタ  
ノデアリマシテ、必ズシモ白棚鐵道ノコト

ヲ論ズル積リデハアリマセヌガ、尙此ノ點  
ハ恐ラクハ將來ニ尙問題ガ殘ルコトダト思  
ヒマスカラ只今ハ承ッテ置クダケニ致シテ  
置キタイト思フノデアリマス、ソレカラモ  
ウ一ツ最後ニ承ッテ置キタイノハ、此ノ私設  
鐵道ノ會社ガ多ク立チ行カス所ノ所以ト云  
フモノハ、遠距離遞減ガ十分ニ行ハレヌ爲  
ニ、貨客ヲ自分ノ線内ニ引入レルコトガ出  
來ナイノガ主ナル原因デアラウト思フ、是  
ハ屢、私ハ其ノ議員デアッタ時ニハ、此ノ會議  
ニ伺ッテ、會社線ニ連帶スル場合ニ、會社線  
ノ「マイル」數ヲ何等カノ公式ニ依ッテ遠距離  
遞減法ヲ施行スルコトガ出來ルヤウナ方法  
ハナイカト云フコトヲ屢、御願ヒ申上ゲテ居  
ルノデスガ、非常ナ困難デアルコトハ私モ  
十分ニヨク承知シテ居リマスケレドモガ、  
其ノ困難ハ恐ラクハ算出家ノ困難デアッテ、  
公式サヘ出來サヘスレバ、後ハ其ノ公式ニ  
當嵌メテ行ケバサウムヅカシイコトハナイ  
ノダカラ、何カ試ミラレタラバ、コンナ補  
助ヲスルヨリハモット有效ニ、私設鐵道ガ皆  
働イテ來ルノダト考ヘルノデアリマスガ、  
尙ソナコトニ付テ今日ハ運輸ノ當局者モ  
御出デニナラヌヤウデスケレドモガ、御考  
ニナラレテ居リマスカドウカ一ツ……

○政府委員(前田權君) 只今ノ御質問ノ御

趣旨ハ、地方鐵道ト國有鐵道トノ連帶若シ  
クハ直通致シマシテ、旅客ナリ貨物ナリガ  
動キマス場合、運賃ヲ通算シタラドウダ、  
斯ウ云フコトノ御趣旨ノヤウニ伺ッタノデ  
アリマスガ、ソレハ極メテ適切ナ事柄デア  
ルト思フノデアリマス、實ハ昨年アタリカ  
ラ鐵道省デ地方鐵道ト國有鐵道トノ運賃通  
算ノ問題ヲ調査ヲ始メテ居ルノデアリマス、  
唯運賃通算ノ問題ハ青木サンモヨク御承知  
デアリマスルヤウニ、今日ノ宅拔デアリマ  
ストカ、小荷物ノ直通運賃ノヤウナヤリ方  
デヤリマスナラバ、是ハモウ極メテ危險ト  
申シテハ語弊ガアルカモ知レマセヌガ、サ  
ウムヅカシイ問題デハナイノデアリマスル  
ガ、アノ豫算ノヤリ方ニ付テハ前カラ始終  
議論モアリマスコトハ御承知ノ通りデアリマ  
スルガ、但シサウ云フ研究ヲ致シマス際ニ  
ハ、宅拔ダトカ、小荷物ダトカニ關シマシ  
テ、從來議論ノアリマシタ點ハ十分斟酌シ  
テ行カクチャナラヌ譯デアリマス、其ノ  
點ニ一ツ非常ニムヅカシイ點ガアルト思フ  
ノデアリマス、ノミナラズ結果ハ地方鐵道  
ニ、單ナル運賃ノ割引ダケノ結果ヲ來タサ  
シメルト云フ譯ニハ行カナイ譯デアリマス、  
其ノ邊ノ運賃ヲ下ゲマシタ以上ニ、數量ガ  
殖エルト云フコトノ見極メガ更ニ肝腎ナ點

デアル譯デアリマス、此ノ二ツノ難點ガ本來  
通算問題ニハ伴ヒマスル譯デアリマスルノデ、  
調査研究ハ簡單ニハ參ラナイノデアリマス、  
今日マダドウ云フ程度ノ調査ヲシテ居ルト  
云フコトスラ申上ゲルコトヲ得マセヌノハ、  
甚ダ遺憾デアリマスガ、調査致シテ居ルコ  
トダケ申上ゲテ御諒承ヲ得テ置キタイト思  
ヒマス  
○委員長(公爵岩倉具榮君) ソレデハ本日  
ハ此ノ程度ニ於テ散會シタイト思ヒマスガ、  
御異議ゴザイマセヌカ  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕  
○男爵大藏公望君 チョットホソノ一言聽  
キタイト思ヒマスガ、宜シウゴザイマスカ、  
大變御迷惑デスガ……  
○委員長(公爵岩倉具榮君) 宜シウゴザイ  
マス、大藏男爵  
○男爵大藏公望君 今ノ青木議員ノ御質問  
ニ對スル當局ノ御返事ハチョット拔ケテ居  
ヤシナイカト思フノデスガ、青木サンハ一  
體地方鐵道ニ對スル補助ハ利拂若シクハ配  
當ニ當ルベキモノダ、今政府委員ノ方デハ  
サウデハナイ、今後ハ全部變ヘタト云フ御話  
ガアリマシタガ、私共考ヘマシテモ初メ十  
年間ト云フモノハ矢張り利拂ナリ、若シク  
ハ配當ニ相當スルト、其ノ十年ナラ十年以

後ニ於テ、尙補助シテヤル時分ニハ、運輸  
其ノ他ヲ助ケルト云フヤウニ考ヘルノガ至  
當デハナイカ、ソレヲ第一年目カラズット  
與ヘルカドウカト云フコトハ、餘程ムヅカ  
シイト思フノデスガ、今ノ御説明ハ拔ケテ  
居ルト思ヒマス  
○政府委員(前田權君) 私ノ申上ゲマシタ  
コトハ、新シイ第一條ノ趣旨ガ左様ダト、  
斯ウ申上ゲタ譯デアリマシテ、附則ノ方ニ  
無論十年未滿ノモノガ今後ト雖モ昭和十一  
年後マデ繼續スル譯デアリマス、ソレハ從  
來ノ規定ト同ジ譯デアリマス、精神モ從前  
通りノ精神デアリマスカラ、是ハ申ス迄モ  
ナイコトデアリマス  
○委員長(公爵岩倉具榮君) ソレデハ明日  
午後一時半ヨリ開會スルコトニ致シマス、  
本日ハ是ニテ散會致シマス  
午後五時十八分散會  
出席者左ノ如シ  
委員長 公爵岩倉 具榮君  
副委員長 子爵秋元 春朝君  
委員 公爵島津 忠承君  
伯爵酒井 忠克君  
男爵大井 成元君  
子爵井上 勝純君



子爵舟橋 清賢君

坂西利八郎君

男爵飯田精太郎君

男爵大藏 公望君

青木 周三君

八田 嘉明君

松本勝太郎君

風間八左衛門君

水野甚次郎君

國務大臣

商工大臣兼鐵道大臣 伍堂 卓雄君

政府委員

鐵道省監督局長 前田 穰君

鐵道省建設局長 河原 直文君

鐵道省工務局長 山田 隆二君